

平成21年度 阿蘇草原再生に向けた「活動計画案」

NO	活動主体名 (提出者)	事業・活動名	関連小委員会			
			牧野 管理	生物 多様性	草原環 境学習	野草 資源
1	九州地方環境事務所	輪地切り作業軽減のための 小規模樹林除去事業	◎			
2	〃	村山牧野防火帯作成事業	◎			
3	財団法人 阿蘇グリー ンストック	野焼き及び輪地切り支援ボラン ティア活動	◎	○		
4	下の道採草組合	「春の牧野まつり」の開催	◎		◎	
5	阿蘇地域振興局 農業振興課	阿蘇で生まれ育ったあか牛の消費 拡大に向けて「阿蘇あか牛肉料理 店」制度の取り組み	◎			
6	阿蘇草原再生シール 生産者の会	野草堆肥を利用した農産品の 流通拡大に向けた活動				◎
7	NPO法人九州バイ オマスフォーラム	阿蘇の草原を守るために「野草紙 を作ろう」プロジェクト			◎	◎
8	九州地方環境事務所 阿蘇自然環境事務所	ぼくたちわたしたち、阿蘇地区 子どもパークレンジャーだ！			◎	
9	九州地方環境事務所 阿蘇自然環境事務所	出前講座：阿蘇の草原を未来へつ なごう			◎	
10	草原環境学習小委員 会	阿蘇の草原キッズプロジェクト： ～阿蘇の草原環境学習を通して将 来の担い手を育てよう～			◎	
11	草原環境学習小委員 会、国立阿蘇青少年交 流の家	「阿蘇の草原キッズ」 ～日本一の草原博士になろう！～			◎	

◎：当該実施計画の検討を主に受け持つ

○：必要に応じて検討・協議を行う

## 1. 輪地切り作業軽減のための小規模樹林除去事業

提出日	平成 21年 2月 10日	活動区分 ※事務局で記入	
実施主体名 (提出者)	団体・法人/個人名： 環境省九州地方環境事務所 新宮牧野		
	連絡先：九州地方環境事務所 住所：熊本県熊本市尾ノ上1-6-22 TEL 096-214-0336 FAX 096-214-0350 担当部署/担当者 国立公園・保全整備課 課長補佐 木下栄治		
事業・活動名	輪地切り作業軽減のための小規模樹林除去事業		
実施場所	阿蘇市新宮牧野組合内		
実施日・期間	平成21年2月～3月		
事業・活動の 背景とねらい	<p>・阿蘇の草原は、農業・畜産の担い手減少及び高齢化等で、草原維持が難しくな ってきている。</p> <p>新宮牧野内の除去予定地は、スギ造林地であり、野焼き時の延焼防止に、毎年輪 地切り作業が必要となっているため、今回、スギ造林地について、分収林の相手方 との承諾が得られたため、植林木の除去を行うものである。</p> <p>樹木の除去を行うことで、輪地切り労力の軽減、延焼防止が図られ、牧野組合の 心労軽減にもつながる。</p> <p>また、伐採後は、草原として管理するため、草原面積の増加につながる。</p> <p>各牧野組合に対して、小規模樹林除去作業は、九州地方環境事務所の支援メニュ ーの一つであり、牧野組合を支援するものである。</p>		
事業・活動 の概要	<p>(1) 輪地切り・輪地焼き・野焼き時の労力軽減を図るため、小規模樹林除去を行 う</p> <p>(2) 野焼きを継続し、本来の自然環境豊かな野草地として再生を図るため、小規 模樹林除去の事業を行う。</p> <p>(3) 小規模樹林除去面積 1.97ha 草原復活面積 1.97ha</p> <p>実施牧野 新宮牧野組合</p>		
実施体制	九州地方環境事務所 新宮牧野組合		
その他 特記事項	九州地方環境事務所と牧野組合とで野草地環境保全計画書を作成し、現状把握・ 整備内容の整理等を行うことが必要である。		

## 2. 村山牧野防火帯作成事業

提出日	平成 21年 2月20日	活動区分 ※事務局で記入	
実施主体名 (提出者)	団体・法人/個人名： 環境省九州地方環境事務所 村山牧野組合		
	連絡先：九州地方環境事務所 住所：熊本県熊本市尾ノ上1-6-22 TEL 096-214-0336 FAX 096-214-0350 担当部署/担当者 国立公園・保全整備課 課長補佐 木下栄治		
事業・活動名	村山牧野防火帯作成事業		
実施場所	阿蘇郡高森町村山牧野		
実施日・期間	平成21年2月～平成21年3月下旬		
事業・活動の 背景とねらい	<p>・阿蘇の草原は、農業・畜産の担い手減少及び高齢化等で、草原維持が難しくな ってきている。</p> <p>村山牧野内の当該予定地は、隣接地にスギ・ヒノキの造林地があり、野焼き時の延 焼防止のため、毎年輪地切り作業が必要となっている。</p> <p>防火帯を兼ねた作業道を設置することで、輪地切り労力の軽減、延焼防止が図られ、 牧野組合の心労軽減にもつながる。</p> <p>各牧野組合に対して、作業道（防火帯）整備は九州地方環境事務所の支援メニュー の一つであり、牧野組合を支援するものである。</p>		
事業・活動 の概要	<p>(4) 輪地切り・輪地焼き・野焼き時の労力軽減を図るため、作業道（防火帯）を 整備する。</p> <p>(5) 野焼きを継続し、本来の自然環境豊かな野草地として再生を図るため、作業 道（防火帯）を整備する。</p> <p>(6) 作業道整備延長 約843m 実施牧野 村山牧野組合</p>		
実施体制	九州地方環境事務所 村山牧野組合		
その他 特記事項	九州地方環境事務所と牧野組合とで野草地環境保全計画書を作成し、現状把握・ 整備内容の整理等を行うことが必要である。		

### 3. 野焼き及び輪地切り支援ボランティア活動

提出日	平成21年2月12日	活動区分 ※事務局で記入	
実施主体名 (提出者)	団体・法人/個人名： 財団法人阿蘇グリーンストック		
	連絡先：財団法人阿蘇グリーンストック 住所：熊本県阿蘇市石 1537 TEL 0967-35-1110 FAX 0967-35-1151 担当部署/担当者名 山内康二		
事業・活動名	野焼き及び輪地切り支援ボランティア活動		
実施場所	阿蘇郡市各牧野及び山都町牧野		
実施日・期間	平成21年 2月14日～平成21年4月上旬		
事業・活動の 背景とねらい	阿蘇の草原維持に欠かせない輪地切り、野焼き作業が地元牧野組合員の減少と高齢化により、地元の人々だけでは難しくなっているため、九州内外の人々に呼びかけ、研修を行なった上で野焼き・輪地切り支援ボランティアを派遣し、地元の人々による野焼き・輪地切り作業を支援する。活動を通して、地元の人々と共に「阿蘇千年の草原」の維持・保全を行なう。		
事業・活動 の概要	<p>(1) 今春野焼き支援ボランティアに参加を希望する初心者の方への初心者研修会 ・第1回2月14日～15日 ・第2回21日～22日 参加者約160名予定</p> <p>(2) ボランティアリーダーによる今春の野焼き・輪地切り支援活動の安全確認会議 2月21日参加者約40名予定</p> <p>(3) 春の輪地切り・野焼き作業へのボランティア支援活動 延べ50ヶ所 参加予定人員 約1,000名 詳細は別紙の通り</p>		
実施体制	財団スタッフ 計5名 ボランティアリーダー 計67名 野焼き支援ボランティア 約600名		
その他 特記事項	・運営資金への支援		

## 2008年度(2009年)野焼き支援活動一覧表

	日程	曜日	市町村	牧野名	備考	要請(予定)人数
1	2月14日	土	南阿蘇村	下磧牧野		30
2	2月15日	日	阿蘇市	本塚七部落組合	初心者研修会	80
4	2月22日	日	阿蘇市	北塚	初心者研修会	80
5	2月28日	土	高森町	村山牧野	輪地切り	30
6			阿蘇市	町古閑牧野(春の牧)		20
3			阿蘇市	二塚牧野		20
7			阿蘇市	波野トラスト地		10
8	3月1日	日	阿蘇市	小堀牧野		15
9			阿蘇市	黒川(乙姫)		10
10			南小国町	扇牧野		20
11	3月8日	日	西原村	鳥子牧野		40
12			西原村	小森東牧野		15
13			南阿蘇村	上二子石牧野		20
14			高森町	冬野牧野		15
15			南小国町	赤馬場牧野		15
16			南小国町	扇牧野		20
17	3月15日～4月上旬まで		南小国町	田の原		15
18		阿蘇市	町古閑		20	
19		阿蘇市	滝水		10	
20		南阿蘇村	長野牧野		20	
21		南小国町	扇牧野		20	
22		小国町	縦木		10	
23		南阿蘇村	中松1区		10	
24		南阿蘇村	中松2区		15	
25		南阿蘇村	中松3区(池の窪含)		20	
26		南阿蘇村	峰組		15	
27		南阿蘇村	東下田		15	
28		高森町	上在牧野		30	
29		高森町	村山牧野		25	
30		阿蘇市	木落牧野		30	
31		阿蘇市	舞谷牧野		30	
32		阿蘇市	下荻の草		20	
33		阿蘇市	新宮		10	
34		阿蘇市	町古閑		20	
35		阿蘇市	中江		10	
36		阿蘇市	根子岳		10	
37		高森町	花咲盛		15	
38		南小国町	慈門坊牧野		20	
39		阿蘇市	坂の上(B)		5	
40		高森町	村山牧野(らくだ山)		25	
41		阿蘇市	笹倉		5	
42		阿蘇市	仁田水		5	
43		阿蘇市	西湯浦		10	
44		阿蘇市	田子山		20	
45		阿蘇市	榎木野(A)		7	
46		阿蘇市	横堀		10	
47		山都町(元蘇陽)	柳谷牧野		10	
48		阿蘇市	坂の上(A)		10	
49		南阿蘇村	夜峰山		40	
50		阿蘇市	日の尾		40	
				合計		1017

#### 4. 「春の牧野まつり」の開催

提出日	平成21年2月17日	活動区分 ※事務局で記入	
実施主体名 (提出者)	団体・法人/個人名： 下の道採草組合		
	連絡先：下の道採草組合 住所：熊本県阿蘇郡南小国町大字中原2372 TEL 0967-42-0683 FAX 担当部署/担当者名 麻生 秀孝		
事業・活動名	「春の牧野まつり」の開催		
実施場所	下の道採草牧野内及びその周辺		
実施日・期間	平成21年5月上旬		
事業・活動の 背景とねらい	<p>当採草組合は、南小国西部の北外輪山上に位置し、牧野を採草や放牧に利用・管理している。有蓄農家が減少する中で、周年放牧に取り組み、また、野草地も含めて牧乾草生産を行うなど原野の有効利用を進めるとともに、野焼きなどの牧野の維持管理を継続し、豊かな野草地の再生に努めている。</p> <p>しかし、有蓄農家の減少等により牧野組合員だけでは牧野を守れなくなっている状況にあることから、地域住民の方々の牧野管理に対する理解と協力は大事となっている。</p> <p>このことから、牧野にくることのない有蓄農家以外の方々との親睦を図るためや牧野管理についての理解を得るために、春に「牧野まつり」を実施する。</p>		
事業・活動 の概要	<p>(1) 下の道牧野内及びマゼノ溪谷での自然探索(午前中) 牧野組合員が、日頃、牧野に立ち入ることのない方々へ牧野内の名所を案内する。 (以前は牧野内で害となる草を参加者全員で駆除を実施)</p> <p>(2) 地元公民館での牧野管理に対する理解を得るための交流会(午後)</p> <p>(3) 参加予定者：牧野組合及びその家族 約40名、非組合員15名、計約55名の予定</p>		
実施体制	下の道採草組合員及びその家族		
その他 特記事項	草原内のエコツアー利用について、阿蘇地域振興デザインセンターと隣接する2牧野組合とで牧野への立ち入り等について、ルール作りなどを行っている。		

5. 阿蘇で生まれ育ったあか牛の消費拡大に向けて「阿蘇あか牛肉料理店」制度の取り組み

提出日	平成21年2月18日	活動区分 ※事務局で記入	
実施主体名 (提出者)	団体・法人/個人名： 阿蘇地域農業振興協議会畜産部会 部会長 日置 和彦		
	連絡先：熊本県阿蘇地域振興局農業振興課（事務局） 住 所：阿蘇市一の宮町宮地2402 TEL 0976-22-3649 FAX 0967-22-3563 担当部署/担当者名 梅田 誠也		
事業・活動名	あか牛の流通・消費拡大の取り組み ～ 阿蘇あか牛肉料理認定店制度 ～		
実施場所	阿蘇郡内の認定店（41店）		
実施日・期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日 （本認定制度は、平成17年2月から実施）		
事業・活動の 背景とねらい	阿蘇地域で育ったあか牛の肉を提供する管内の旅館・ホテル・ペンション・レストラン等を阿蘇あか牛肉料理認定店として認定し、広く認定店制度をPRすることによって、阿蘇あか牛のブランド化と消費拡大を推進する。		
事業・活動 の概要	<p>(1) 阿蘇あか牛肉料理認定店の認定 41店舗</p> <p>(2) 魅力ある店舗づくりのための認定店研修会の開催 2回</p> <p>(3) 認定店用のぼり、ロードマップ等PR資材の作成・配布</p> <p>(4) 阿蘇あか牛のPRを進めるため、「まるごと阿蘇フェア」を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催期間：平成21年10月</li> <li>・内 容：オープニングイベント 熊本市 熊日びぶれす広場 阿蘇産農畜産物の展示販売、安全・安心な農畜産物のPR 認定店におけるあか牛肉料理の提供 新米（阿蘇コシヒカリ）のプレゼント等</li> </ul> <p>(5) 広報活動（外食産業向月刊誌、新聞、テレビ等）</p>		
実施体制	阿蘇地域農業振興協議会畜産部会（構成団体：市町村、畜産農業協同組合、酪農業協同組合、県関係機関）で実施する。		
その他 特記事項			

6. 野草堆肥を利用した農産品の流通拡大に向けた取り組み

提出日	平成 21 年 2 月 23 日	活動区分 ※事務局で記入	
実施主体名 (提出者)	団体・法人/個人名： 阿蘇草原再生シール生産者の会 会長/市原啓吉		
	連絡先：阿蘇草原再生シール生産者の会事務局（阿蘇自然環境事務所内） 住所：阿蘇市黒川 1180 TEL：0967-34-0254 FAX：0967-34-2082 担当部署/担当者名 井上		
事業・活動名	野草堆肥を利用した農産品の流通拡大にむけた活動		
実施場所	阿蘇群市内（各牧野、生産者会員の農園）、熊本市		
実施日・期間	平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月		
事業・活動の 背景とねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・阿蘇草原再生シール生産者の会（以下「生産者の会」）は、阿蘇の草原の野草を堆肥等として利用して農産品等を再生する生産者等が集まり、当該農産物品等に阿蘇草原再生シールを貼付して農産品等の付加価値を高めることにより流通を促進させ、草原環境の保全及び再生を図ることを目的としている。</li> <li>・生産者の会では草原の野草を堆肥などとして使った農産品に「草原再生シール」を貼って流通させている。農産品に「草原環境を守る」という付加価値を付けていく取り組みを通して、草原環境の保全・再生に貢献していく。</li> </ul>		
事業・活動 の概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生産者の会の活動を通しての野草利用の促進             <ol style="list-style-type: none"> <li>①常時販売                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容：野草を堆肥等として利用して生産した農産品に「草原再生シール」を貼付し、直売所等で販売する。</li> <li>・実施場所：四季彩いちのみや、あぜり庵、ASO 田園空間博物館、はな阿蘇美（以上阿蘇市）、きよらカアサ（南小国）、物産館「自然庵」（南阿蘇）</li> </ul> </li> <li>②イベント販売                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容：「野草の活用が阿蘇の草原再生につながること」の普及啓発のため都市部（主に熊本市）でイベント販売を行う。</li> <li>実施時期：6 月（1 回）、7～8 月（2 回）、11～12 月（2 回）</li> </ul> </li> <li>③産地直送販売                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容：シールを貼付した野菜セットの産地直送販売（県外も対象）を行う。</li> <li>・実施時期：夏（1 回）、冬（1 回）</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>2. 生産者の会の活動拡大             <ol style="list-style-type: none"> <li>①情報発信                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象：ファンクラブ会員、消費者等</li> <li>・内容：生産者の会 HP、ダイレクトメール等で会の活動情報などを発信する。</li> </ul> </li> <li>②会員拡大                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象：地元生産者等</li> <li>・内容：昨年度補助金を得て実施したアンケート調査の結果等を利用し、会の活動に興味を示した生産者を勧誘する。</li> </ul> </li> </ol> </li> </ol>		
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員（生産者会員、賛助会員）：野菜の生産・販売、イベント企画</li> <li>・事務局：イベント企画、情報発信</li> </ul>		
その他 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更なる事業の拡大、広報、参加者の紹介などの際の協力、支援を協議会にお願いします。</li> </ul>		

## 7. 阿蘇の草原を守るために「野草紙を作ろう」プロジェクト

提出日	平成21年2月24日	活動区分 ※事務局で記入	
実施主体名 (提出者)	団体・法人/個人名： NPO法人九州バイオマスフォーラム		
	連絡先：事務局 住所：阿蘇市一の宮町宮地5816 TEL：050-3305-6577 FAX：0967-22-1014 担当部署/担当者名：影沢裕之		
事業・活動名	阿蘇の草原を守るために「野草紙を作ろう」プロジェクト		
実施場所	阿蘇市内		
実施日・期間	平成21年4月～平成22年3月		
事業・活動の 背景とねらい	<p>阿蘇の草原を守るためには、阿蘇の住人が、子どもの頃から草原の成り立ちや大切さについて知っていることが効果的であると考えました。一方、現在の阿蘇の子ども達のなかには、草原に行ったことがない子どももいます。</p> <p>そこで、阿蘇に住んでいる子ども達と草原に行き、野草を刈り、野草を原料とした紙漉きを行うという一連のワークショップを通して、資源利用と草原保全の大切さを学ぶ体験型の環境学習を企画・実施します。</p>		
事業・活動の 概要	<p>○プロジェクトを遂行するために有識者による委員会を設置し、本プロジェクトの方向性を決定し、ワークショップを数回に渡って開催します。</p> <p>○阿蘇市内の小学校に在籍している主に6年生を対象に、ワークショップを開催し、その過程で、阿蘇の草原は人が利用することにより様々な生き物が生息・生育する環境が守られてきた二次的自然であることについて理解を深めてもらう。</p> <p>○阿蘇市外の団体を対象としても、体験型環境学習のプログラムとして阿蘇地域でグリーンツーリズムを推進している団体と連携し、草原学習のワークショップを実施する。</p> <p>○平成19・20年度に実施した「紙漉きを用いた草原学習」の経験を元に、指導冊子を作成し、指導者育成研修会を開く。</p> <p>○ススキを混ぜた野草紙名刺を作成し、販売いたします。</p>		
実施体制	<p>NPO法人九州バイオマスフォーラム：事業実施・運営管理</p> <p>専門委員会：ワークショップ受け入れ対応、指導冊子内容検討&amp;策定</p> <p>参加学校&amp;団体：ワークショップに参加</p> <p>&lt;事業活動資金&gt;地球環境基金の助成金による</p>		
その他 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門委員会への入会やボランティアへの参加を歓迎しています。</li> <li>・野草紙の材料とマニュアルがセットになった教材も作成予定です。</li> <li>・完成した野草紙和紙は卒業証書や記念品として使うことが可能です。</li> </ul>		

## 8. ぼくたちわたしたち、阿蘇地区子どもパークレンジャーだ！

提出日	平成21年 2月24日	活動区分 ※事務局で記入	
実施主体名 (提出者)	団体・法人/個人名： 環境省 九州地方環境事務所		
	連絡先：環境省 九州地方環境事務所 阿蘇自然環境事務所 住所：熊本県阿蘇市黒川 1180 TEL: 0967-34-0254 FAX: 0967-34-2082 担当部署/担当者名：宿利 邦隆		
事業・活動名	ぼくたちわたしたち、阿蘇地区子どもパークレンジャーだ！		
実施場所	草千里や地元牧野、阿蘇山上火口周辺などを予定		
実施日・期間	平成21年 7月～平成21年11月（年2回程度）		
事業・活動の 背景とねらい	<p>地元の子どもたちは、阿蘇の草原が千年も昔から人々の生活によって守り継がれてきたことを知らない（深く考えていない）のが現状。</p> <p>1日、阿蘇地区子どもパークレンジャーとなって、阿蘇の草原の保全や保護への取り組みに参加させることで、自然に対する理解や愛着を深める。</p>		
事業・活動 の概要	<p>阿蘇のカルデラ地形と草原、人々の暮らしをさまざまな体験を通して学び、興味関心を高める。また道沿いのゴミ拾い、公園利用者への指導等を通して自然保護保全活動を実践する。</p> <p>◎実施期間：7月～11月にかけて（2回程度を予定）</p> <p>◎実施場所：草千里・地元牧野・阿蘇山上火口周辺等</p> <p>◎対象：地元小学生高学年～中学生を中心</p> <p>◎募集人数：30名程度</p> <p>◎参加費：実費（保険料・食事代等）</p> <p>◎主な内容： ・カルデラウォッチング（知る） ・草原トレッキング（観察） ・草刈り・草小積みづくり体験（体験） ・ゴミ拾い（活動） ・公園利用者の指導（活動） ・学習会（まとめ・発表） などを予定</p>		
実施体制	<p>主催：環境省九州地方環境事務所</p> <p>協力：阿蘇地区パークボランティアの会 ほか</p>		
その他 特記事項	<p>・地元の子どもたちが参加しやすい時期に設定する。（学校行事等を確認）</p> <p>・阿蘇地区パークボランティアの協力を得て活動時の安全管理等に努める。</p>		

## 9. 出前講座：阿蘇の草原を未来へつなごう

提出日	平成21年 2月24日	活動区分 ※事務局で記入	
実施主体名 (提出者)	団体・法人/個人名： 環境省 九州地方環境事務所 阿蘇自然環境事務所		
	連絡先：環境省 九州地方環境事務所 阿蘇自然環境事務所 住所：熊本県阿蘇市黒川 1180 TEL: 0967-34-0254 FAX: 0967-34-2082 担当部署/担当者名：宿利 邦隆		
事業・活動名	出前講座：阿蘇の草原を未来へつなごう		
実施場所	阿蘇市郡内小中学校、高等学校および地元牧野等		
実施日・期間	平成21年 4月 1日～平成22年 3月31日（通年・学校の要望に対応）		
事業・活動の 背景とねらい	阿蘇に暮らしているながら、阿蘇の草原と人との関わりについて知らない（気にしたことがない）子どもたちが多いのが現状。阿蘇の草原を守っていくためには、地元の理解が不可欠である。そのためにもまず、地元の子どもたちに、阿蘇の草原環境に興味関心をもってもらいたいと考え、地元の小中高校の総合学習や地域学習などの時間に出前講座を行い、阿蘇の草原は人の手によって守られてきた事、みんなの先祖にあたる人々が守り続けてきたことに誇りをもってもらえるような草原環境学習を目指す。		
事業・活動 の概要	<p>「人の暮らしと共にある豊かな草原」や「阿蘇の草原の現状と課題」など、阿蘇ならではの難しいテーマをどのようにしたら興味・関心を持ってもらえるか、対象にあわせた内容を学校の先生と相談しながら企画する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 実施対象：阿蘇市郡内小中学校、高等学校を中心とする</li> <li>◎ 実施場所：阿蘇市郡内小中学校、高等学校及び地元牧野など</li> <li>◎ 費用：無料</li> <li>◎ 募集方法：基本的には学校の要請に対応</li> <li>◎ 対象別プログラム（案） <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学低学年向け：阿蘇の草原に生育・生息している生き物を通して、草原環境に興味関心をもってもらう。（紙芝居やゲームなど）</li> <li>・小学高学年向け：阿蘇の草原へ行き、観察や体験を通して、草原環境に興味関心をもってもらう。（地元牧野組合の方との交流も行う）</li> <li>・中学生向け：阿蘇の草原へ行き、観察や体験を通して、草原環境の現状と課題をみつけ、自分たちにできる事は何か考える。（地元との交流も行う）</li> <li>・高校生向け：草原での体験や地元との交流を通して、阿蘇の草原の現状と課題をみつけ、自分たちにできることを考えて行動する。</li> </ul> </li> <li>◎今年度対象学校例：産山小学校・中通小学校・山田小学校・阿蘇北中学校・阿蘇高校等</li> </ul>		
実施体制	環境省九州地方環境事務所阿蘇自然環境事務所のスタッフと、学校の担当の先生と一緒に企画し、実施する。また、地元牧野組合の方々の協力のもと、草原の技などを指導していただく。		
その他 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎学校が草原環境学習の取り組みを行う場合の相談にも対応し、当事務所で作成のワークブックや指導書、学習プログラムの提供を行う。</li> <li>◎修学旅行生を受け入れている地元牧野組合や、ボランティアの方へ資料や学習プログラムの提供を行い、より多くの人に草原を紹介しやすい仕組み作りを行う。（例：雨の日プログラムとしての、座学やクイズ・紙芝居等）</li> <li>◎林間学習や、集団宿泊研修、修学旅行などで阿蘇を訪れる学校に対しても、草原の成り立ちや、草原保全の話を行い、地域外の子どもたちにも、阿蘇の草原に興味関心をもってもらう。</li> </ul>		

10. 阿蘇の草原キッズプロジェクト: ~阿蘇の草原環境学習を通して将来の担い手を育てよう~

提出日	平成21年 2月24日	活動区分 ※事務局で記入	
実施主体名 (提出者)	団体・法人/個人名: 草原環境学習小委員会		
	連絡先:(財)阿蘇火山博物館 住所:熊本県阿蘇市赤水 1930-1 TEL: 0967-34-2111 FAX: 0967-34-2115 担当部署/担当者名:館長 池辺 伸一郎		
事業・活動名	阿蘇の草原キッズプロジェクト: ~阿蘇の草原環境学習を通して将来の担い手を育てよう~		
実施場所	阿蘇市郡内の小中学校(阿蘇全域)		
実施日・期間	平成21年4月~平成26年3月末(5箇年計画)		
事業・活動の 背景とねらい	阿蘇地域の子ども全員が草原に関する一定の知識を持ち、阿蘇の草原保全に対する理解を深めることを目標に、阿蘇草原環境学習小委員会では、「阿蘇の草原キッズプロジェクト」を立ち上げ、草原環境学習を進める中から草原環境保全の担い手の確保につなげることを目指す。 このプロジェクトでは、その目標達成に向けて阿蘇市郡内の学校教育現場に於いて、活用できるような学習プログラムづくりを行う。		
事業・活動 の概要	阿蘇の子どもたちが成長過程において、地域で守り継がれてきた草原に必ず触れる機会をつくり、阿蘇の草原に対する一定の知識と興味や関心を高めることができるような仕組み作りを5箇年計画で検討し、実施する。  ①基礎データの収集 (平成21年度計画) a) アンケート調査 b) ヒアリング調査 c) 小中学校の実践事例集の作成 d) 各学校の地域牧野組合へのヒアリング調査 e) 受け入れ可能牧野組合リスト、条件等の整理  ②学習内容の検討 (平成21~23年度計画) a) ショートスクールの実施 b) 個別活動における検討 c) 教科部会や初任者研修、教頭会等での検討 d) モデル校での実践 e) 教員向け学習研修会の実施  ③協力団体・受け入れ機関・施設、対応内容等の検討 (平成23~25年度計画) a) 協力団体・受け入れ機関・施設の検討 b) 各機関における対応内容等の検討 c) 地域と学校を繋ぐ環境教育マニュアルの検討		
実施体制	・草原環境学習小委員会		
その他 特記事項	・協力の要請: ・阿蘇教育事務所 ・阿蘇市郡内教育委員会 ・PTA ・地元牧野組合 ・地域住民 ・地元社会教育施設 など		

### 11. 「阿蘇の草原キッズ」～日本一の草原キッズになろう！～

提出日	平成21年2月26日	活動区分 ※事務局で記入	
実施主体名 (提出者)	団体・法人/個人名： 国立阿蘇青少年交流の家 草原環境学習小委員会		
	連絡先：国立阿蘇青少年交流の家 住所：熊本県阿蘇市一の宮町宮地6029-1 TEL:0967-22-0813 担当部署/担当者名：事業推進課 企画指導専門職 紫垣 俊光		
事業・活動名	「阿蘇の草原キッズ」～日本一の草原キッズになろう！～(連絡協力促進事業扱い)		
実施場所	国立阿蘇青少年交流の家、地元牧野		
実施日・期間	平成21年9月～平成21年10月(1泊2日)または(2泊3日)		
事業・活動の 背景とねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>阿蘇の草原維持活動の体験や草原環境の学習を行うことで、草原環境の現状と課題を理解してもらうだけでなく、草原環境の保全・再生という地域課題の解決に取り組もうとする意欲の向上を図る。</li> <li>阿蘇の草原維持活動を体験することで、人が積極的にかかわっていかなければ維持できない二次的自然の重要性を理解してもらう。</li> <li>国立阿蘇青少年交流の家、地元牧野組合、草原環境学習小委員会 等の各種団体が協働で実施することにより、効果的な草原環境学習を目指す。 (草原キッズプロジェクトとの関連②-a) ショートスクール扱い)</li> </ul>		
事業・活動 の概要	阿蘇の草原環境の現状を学ぶとともに草原維持活動の体験等をとおして、環境保全への意識を高めることを趣旨とした事業である。 <ul style="list-style-type: none"> <li>実施場所：国立阿蘇青少年交流の家、地元牧野</li> <li>対象：小学生(4年生以上)・大人(小学校教員, 保護者, 自然体験指導者等)</li> <li>募集人員：60人・40人 計100名</li> <li>参加費：2,500円程度(1泊2日)または4,000円程度(2泊3日)</li> <li>募集期間：9月または10月頃</li> <li>募集方法：阿蘇郡市内の小学校及び熊本県内小学校への働きかけ、チラシ・ポスター配布、インターネットでの広報</li> <li>主な活動：阿蘇の草原環境を学ぶバスツアー、輪地焼き体験、採草作業体験、阿蘇の草原環境についての講義・演習、ふりかえり</li> </ul>		
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>国立阿蘇青少年交流の家：企画・運営、募集、草原環境学習プログラムの指導</li> <li>草原環境学習小委員会：企画・運営、募集、草原環境学習プログラムの指導</li> <li>地元牧野組合：後援予定、活動フィールドの提供、輪地焼き・野焼き指導等</li> <li>(財)阿蘇グリーンストック：後援予定</li> <li>(熊本県教育委員会)：後援予定)</li> <li>(熊本県キャンプ協会)：後援予定)</li> </ul>		
その他 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>阿蘇郡市各小学校に対して、本事業の周知及び参加呼びかけへの協力を依頼する。</li> <li>草原環境学習小委員会を本事業の実行委員会とする</li> </ul>		